

ご挨拶

学校法人奈良学園 理事長 伊瀬 敏史



同窓生の皆様にはますますお健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。私も理事長に就任して三年目となり学園の末永い発展のために日々尽力しております。

新型コロナウイルスの影響を受けていた教育活動も七月に入って大学以外は各校園で本来の各キャンパスでの授業が行われていますが、年度末から年度当初は大変な日々でした。国からの要請を受けて三月二日より学園各校では臨時休校に入り、卒業式も工夫をして実施しました。奈良学園小学校では校長が壇上から一人一人に卒業証書を手渡し、在校生の送辞や卒業生の答辞を会場前面のスクリーンに映して小学校生活の思い出や両親、先生への感謝、合唱を披露してより一層思い出深い式となりました。入学・入園式についても奈良学園幼稚

御礼

元奈良文化女子短期大学学長 松田 親典



教育をどのように組み合わせる必要があるか、これから考えてゆく必要がある。ここに奈良文化女子短期大学創設時の精神である個性尊重の学習者本位の教育があると考えています。災い転じて福となすように、コロナ禍を教育改革の大きなきっかけとしたいと考えています。

登美ヶ丘キャンパスの奈良文化女子短期大学の学舎では

私はこの度学校法人奈良学園を退職いたしました。振り返りますと、平成十五年四月に奈良文化女子短期大学に教員としてお世話になり、平成二十年四月に校舎が登美ヶ丘に移転するとき、学長に任じられました。平成二十六年四月から令和二年五月末までは常勤監事として務めさせていただきました。中でも学長時代は緊張しましたが、充実した楽しい六年間であったと

奈良学園大学保健医療学部リハビリテーション学科の学生さんたちが学んでおり、また三郷キャンパスの人間教育部が令和四年四月から登美ヶ丘キャンパスに移ることになり、着々と準備が進められています。奈良学園は未来社会に雄飛する人材を育ててまいります。同窓生の皆様におかれましては、末永いご健勝をお祈りいたしますとともに変

作っていただき学生時代の思い出を語っていただいた中には、三部制の卒業生が多数おられ、朝四時に起き朝食もそこそこに働いた苦労話なども今ではその苦労が実っているという話や、また幼稚園の園長をされている方もおられ、地方から学生を集めても就職は地元で出来るよ、など温かい励ましを頂きました。この時同窓生の皆様がおられることの強みを感じ自信を持ちました。心から感謝してお礼申し上げます。本当にありがとうございます。どうぞ新型コロナウイルスに負けず健やかな日々をお過ごしください。



奈良学園大学 2022年4月
登美ヶ丘キャンパス One Campusに

わらぬご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

思い出しています

奈良文化女子短期大学名誉教授 坂本 瑞



まだまだ新型コロナウイルスは衰えませんが、タンスから単衣の着物を出して夏向きのマスクを作っている風鈴の音がチリチリ。学生たちとたくさんの童謡を歌ったなあ。入学したばかりの学生たちと体育館の辺りを散策中、一面に小さなタンポポが咲いていました。♪やあ、タンポポさんや！野原につけたかわいいボタン タンポポさん たんぽぽさんと歌いました。学生の一人が私の耳で「先生は幼稚やなあ、タンポポにサンはいらんで。恥ずかしいね。」と。その学生は現在四十九歳、園長先生になってタンポポさんを歌っています。

私の思い出の歌の BGM はいつも
大和国原・
むらさきけむる・です
又、こんな話。編入制度を利用し、四、五人が四年制大

学へ進学したと覚えていません。卒業して一般企業に就職したと聞いていましたが、後にやはり保育士になって楽しいですとか、初心忘れずですなんて手紙をくれました。某短大と専門学校非常勤講師になり数年勤めましたが辞めて今は保育士になって勤めているという卒業生もいます。

又、学園祭の準備の話し合いの時、突然「私は結婚するなら親と別居です。同居なんてめんどくさい。」と話をした学生、「もう決まった人いるの?」「そのつもりでこれから探します。」と喋っていた学生が手紙をくれました。現在、三世代八人暮らしのこと、「おじいさんとお母さんを在宅介護しています。家族って素晴らしいです。もう次は四世代暮らしになりそうです。嬉しい次第です。」等々。思い出を語るには枚挙いとまがありません。私は喜びも悲しみもある思い出をリュックに詰めてもうひと山登っています。実に楽しいです。老後の青春です。向後、卒業生の歩む道が一路順風であることを願いながらまだまだ歩きます。

あなたたちがいてくれたから

元奈良学園大学奈良文化女子短期大学教授 小川 純子



卒業生のみなさま、お変わりございませんかとお聞きするのもおそろおそろの時代となつてしまいました。世界中を案じるなどはテロぐらいしか思いつかない平和ぼけした私にとって、まさかのパンデミックの訪れでした。

我が家でも、同居の息子が四月末から五週間リモートワークとなり、三世代四人での引きこもり生活となりました。と言っても、私は「おうち大好き」なので、ステイホームを満喫したちよつと申し訳ない人間です。四月からの三ヶ月、積んどく状態だった本を読み、それが終わると、いろいろなサイト(なろう、カクヨム)に掲載された小説をタブレットで読みあさり、更にゲームソフトの封を次々と開けて、オタクまっしぐらの生活を送りました。ずっと文字を読んでいたという願望がなくなったという訳です。

なので、近況を書こうとしたらプライベートしか書くことがない、という情けない現実になり、今気づきました。

そんな生活の中、多くの大学の式典取りやめのニュースを聞き、ふと思つたのは、このパンデミックが一年早く来ていたらどうだっただろうということでした。五十四年の歴史に幕を閉じるホテル日航奈良での、華やかな雰囲気の中での涙、涙の卒業式。続々お別れ会、同窓会主催の謝恩パーティー。これらが全て実施されなければ、卒業生、同窓会のみな様だけでなく教職員も不完全燃焼の心を抱えたまま、短期大学との別れを迎えた事でしょう。偶然にも短期大学の閉学と定年を同時に迎えた私にとっては、昨年三月を無事に終えた事を改めて感謝する気持ちでいっぱいです。

思えば、大学卒業と同時に奈良文化女子短期大学に赴任してからの毎日は、「ぶんとん」で教わる事が中心の生活でした。教員としての心構えもない私は、先任の先生方から、広い知識や常識を教えていただきました。また、年令

差のほとんど無い学生を前に途方にくれる私を励ましてくれたのは、寮生活をしていた学生達でした。厳しい規則の寮にいながらも明るく元気に生活する彼女達は、音楽棟へピアノの練習に来ると、いつも私の憂いを遠慮無く笑い飛ばし励ましてくれたのです。

その頃は、六十五歳までぶんとんにお世話になるとは思っていないませんでした。私が続けられたのは、素朴で明るく元気いっぱいいな学生達たちがいてくれたからでしょう。

四十三年間を振り返り思うのは、あの美しい高田川の満開の桜と、学生達の明るい笑顔です。改めて、「ぶんとん」に感謝すると共に、皆さまにどこかで再会できることを楽しみに、のんびりとしたこの生活を送りたいと思います。



創刊号(昭和五十八年)再掲(抜粋)

「まほろば」に寄せて

奈良文化女子短期大学名誉学長 足立 浩

(平成十八年四月十一日 逝去)



よい所」と云う意味であり、また「周囲に丘や山を巡らした中央の土地」の意味であるとも云われる。

「まほろば」の「ろ」「ば」は接尾語で格別の意味はなく、「まほろば」は「まほら」と同じと解してよい。

奈良文化女子短期大学の同窓会が、卒業生や在学生の意見で会の名を「まほろば」と定めた。本学の同窓会にふさわしい佳い会名であって喜ばしい。
古事記によると、倭尊命(日本武尊)が東国からの帰途、いせの能煩野(のぼの)で次の歌を詠まれたと記されている。

倭(やまと)は国のまほろば たたなづく 青垣山隠(こも) れる倭し美(うるわし)

この歌は倭尊命が大和を偲んで詠まれたのであるが、本居宣長が古事記伝で「倭の国は大八島国の中の麻布羅(まほら)なる国ぞとほめ給えるなり」と云っているように大和をたたえた歌である。「まほら」とは「すぐれた

「まほろば」ーなんと快い響きを持つ言葉であろうか。まろやかで上品でころが自らさわやかになる。快いことばである。
そしてこのことばからは学園生活で築いた友情の温かさが伝わってくる感じでもあって、同窓会名としては最適であろうと思われる。
本学の多数の卒業生の出身地を見ると、北は北海道から南は沖縄まで殆ど全国各地に及んでいる。
このような卒業生が広く全国的に分布していることは、

本学の特色の一つである。これらの同窓生は、或いは職について活躍し、或いは家庭の主婦として家事や育児にいそしむ等それぞれ充実した人生を歩んで頼もしい。
同窓生の皆さんは、国の「まほろば」大和の地でともに学んだことに思いを馳せて同窓のきずなを強めていただきました

開学当時の思い出

元奈良文化女子短期大学学部長・学寮長

同窓会顧問 橋本 登喜子

(平成十六年十二月二十日 逝去)



その積み重ねが今日を迎えられたのです。

開学当初を思えば驚くばかりの発展は、数知れない先生方のご尽力と卒業生諸嬢の足跡の賜であると思います。

本学が開学になって、二十周年を迎え、大学と共に歩んで参りました私には只々感無量と申すより他に言葉がありません。何か書いてよいのか迷っていますが、二十年という年齢(よわい)は、言葉で言ってしまう簡単なことですが、人生で言えば幼児から成人になる年月。「光陰矢の如し」。迎え、また去っていった年月には雨の日も、嵐の日も、また晴れた日もあり

い。
なお、同窓会は今後会誌を発行することとなったのであるが、この「まほろば」会誌によって同窓生相互の心の触れ合いを期待したいものである。卒業生の皆さんの幸せと同窓会「まほろば」の発展を祈って止まない。



開学当時の正面玄関

開学時は、教養科だけで、人数は四十七名でしたが、当初からきりつとした清潔な制服に全員身をかため和やかな中にも厳粛に入学式が行われました。今もなお当時の学生の一人ひとりの顔がはつきり浮かんで参ります。入学式には当時同志社大学の総長の住谷悦治先生を本学の名誉学長としてお迎えして行われました。その時の先生のお言葉が今も忘れることなく脳裏にはつきり残っています。

「奈良文化女子短期大学は開学当初からこれだけ大勢の学生を迎えたことは我が同志社大学の開学よりりっぱです。それに皆さんの顔は輝いていて瞳は実に美しい。これを「質素の美と健康の輝き」と申したい。」と励ましてくださいました。いまは質素の美を「清楚の美」とあらため健康の輝きとして制服を大切にしてきましたのです。
当時は体育館もなく、図書館らしいものは勿論、講堂もない。それでも一人も学生は不満を訴えることなく、和気藹藹の中で大学祭を行ってくれました。個人用の学習机を寄せ集めて舞台を作り、パツクの風景は皆の手書きで作られ、内容豊かな演劇を見せてくれた感激。不自由な中から



昭和50年当時の正門

模擬店もはなばなく、オー
ルキャスト大活躍の楽しかつ
たこと等。

二期生になると遠隔地から
来た学生六十八名が入寮し
たのが、本学学寮の初めて
です。寮といっても八十二、五
平方米、軽量鉄骨三階、間仕
切りはベニヤ板一枚、一室に
八名、十名が起居していたの
です。食事は輪番制で、自炊
日曜日になると自室、共用区
域の清掃、誰一人苦情をいう
者はなく非常に明るい雰囲気
だったものです。

今となって考えれば夢のよ
うですが、このようにして年
が経ち月日が流れてきたこと
を申せば枚挙に遑がないこと
ながら先輩たちが残してくれ
足跡が貴い礎となっているの
です。

歌いましょう

昭和四十四年教養学科卒業

櫻井 秀子(同窓会副会長)



今年の夏、東京オリムピッ
クが華々しく開催される予定
でしたのに新型コロナウイルス
の世界的蔓延により、来年
に延期となりました。同窓生
の伊藤さんのご息女、卓球世
界ランキング二位の伊藤美誠
さんにメダルを期待し、応援
できることを楽しみにしてい
ましたのに残念です。来年、
世界中の人々が一つになって
感動を共有できる日が訪れる
ことを願っております。

コロナウイルスが猛威を振
るう中、想像を絶する豪雨に
よる災害が次々と各地で続い
ていますが、同窓生の皆様、
大事なくお過ごしでしょう
か。案じております。

さて、私は三期生、年女(子)
ですが、コロナの中、虫歯を
抜歯することになり、ひとつ
老いを感じた瞬間でした。毎
朝六時半から九十七歳の女子
を筆頭にご近所さん数人と家

の前でラジオ体操を行って
います。皆さんお元気です。続
けて七年めを迎えました。自
宅別棟で夫がカラオケスタジ
オを経営するにあたり、私に
も十八番が必要になりました
た。かつて、中央アジアを旅
した時に見た満天の星、それ
はそれは大きな月、その時に
口ずさんだ「月の砂漠」を練
習しました。カラオケスタジ
オを「憩いの家」として、健
康体操やお茶会、おしゃべり
をして、八十歳越えの男女を
中心にお互い切磋し、新曲や
十八番をカラオケで披露、楽
しい時間を過ごしています。
一番若いのは私です。

歌は、人生の応援歌である
とともに、健康のパロメー
ターであるかもしれせん。
夫は、カラオケのお蔭で命拾
いをしました。食道ガンを手
術、腸閉塞、誤嚥性肺炎を患
い無事退院しましたが、五年
後、声がかすれ好きな歌を最
後まで歌うことがつらく感じ
るようになりました。口頭ガ
ンでした。三十五回の放射線
治療で復活しました。今は、
養生中ですが、東京発ヘルプ
マークをシオルターに付け
て、北は北海道から南は沖縄
まで、主に車で旅行や湯治に
出かけられるまでになりました
た。ぜひ、大きな声を出して
歌ってみてください。おなか
から声を出して歌を歌える時
は、幸福な時だと思えます。
かつて、足立浩学長が、国
立中央青年の家(現青少年
交流の家)の所長を退任され
れ、母校の学長に就任された
ころ、私は学生課におり、大
変親しく接していただきました
。新入生の「夏季合宿」は、
各地の国立青年の家で実施さ
れました。「君の行く道は果
てしなく遠い」で始まる「若
者たち」という歌が先生の
十八番でした。いろいろな行
事の時々歌ってくださいまし
した。今も耳に残っています。
そして、学生部長であり学
寮長であった橋本登喜子先生
とは、入学前の学校見学の案
内をして頂いて以来、学生と
して、職員として勤務中も大
変お世話になりました。先生
は、結婚後、中国にわたり日
本に引き揚げて来られてか
ら、服飾学園を設立、母校の
基礎を築かれました。中和学
園です。ご苦労されたこと、
思い出話をたくさんしてくだ
さいました。先生と中国にご
一緒できたことはよい思い出
です。先生は、「あざみの歌」
がお好きでした。「山には山

の愁いあり 海には海の悲し
みや・・・秘めたる夢をひと
すじに・・・」と、歌って
くださいました。

母校は、昨年の卒業生を最
後に、「奈良学園大学」に引
き継がれましたが、「同窓会
まほろば」は、卒業生がいる
限り、存在し、活動を続けて
まいります。そのためには、
若い力が必要です。御協力の
ほどお願いいたします。同窓
生の心と心を繋ぎ、絆を深め
ることができるよう運営を
続けてまいります。楽し
みにしてくださいっている皆様
に、会誌「まほろば」をお届
けできますように頑張ってい
まいります。コロナで、同
窓会開催もままなりません
が、同窓会が支援させていた
だきます。どうぞ、情報をお
寄せください。会誌にも原稿
をお寄せいただきたく、お便
りをお待ちしています。



思い出

教養学科卒業 大西(井本) 恭子



半世紀以上も前のことですが、数年前のくらしいのことにように記憶が甦ってきます。

昭和四十一年四月、高校時代の仲良しだった友と二人で校門をくぐりました。ふたかみ寮にお世話になり、寮生が当番を決めてお弁当を作り、東中の学舎へは歩いて通学しました。その後大学のそばにかつらぎ寮が完成しそちらに移りました。寮では自治会をつくり、規則によって運営し、寮生は和やかに親しく暮らすことができました。全国各地から奈良の地を慕って入学された方が多く、地方色豊かな雰囲気が好きでした。特にお国言葉からは温かい人柄が感じられたものです。当時は、夕食後に保育科の学生さんたちが大学に行き、ピアノをお借りし自主練習をすることができました。私も時折我流で練習していました。この

寮生活での体験が後の私の職生活に大きく影響することになったのです。学生生活の全てにわたって、園長の橋本登喜子先生が懇切丁寧にご指導くださいました。本当に心強い存在でした。

本科の講義では、国文講読 鴉外の「舞姫」が心に残り、古典では、万葉集の数々の和歌に心を奪われました。大和の地ならではの感情の高まりを覚えたものです。特に歴史考古学を教わった小島貞三先生のお姿は、法隆寺の百済観音立像と重なって深く記憶に残っています。日常の暮らしの中では得難い臨地講義では、千数百年も前の世界に私たちを誘ってくれました。諸先生方に感謝の一言です。夜行列車、青函連絡船などを乗り継いだ北海道への修学旅行。今なら数日で巡れる旅ですが、当時は長期の旅となり、先生方や仲間と時間が共有できたことも良い思い出です。卒業後、何度か高田の地を訪れました。登美ヶ丘の学舎にも一度足を運びましたが、

私の記憶に残る懐かしい姿はもうそこにはなく、時代の流れを強く感じさせられた瞬間でした。

七十二歳になった今、私の人生は奈良文化女子短期大学と共に有ったと実感しています。



昭和四十二年 かつらぎ寮の門前で 後ろは学舎 何の屈託もなく過ごしていたころの私です。

寮歌の制定

昭和四十二年、学生寮で愛唱する寮歌を募集した結果、井本恭子さん(第二期生・改姓大西)の作詞が当選、北村七三雄先生が補作、宮田和先生が作曲されました。入寮式のほか寮祭や毎月開催される寮総会で愛唱されました。



寮歌

作詞 井本 恭子
補作 北村七三雄
作曲 宮田 和

たたなづく山青垣の山懐ろにいだかれて朝(あした)夕べに葛城の山の姿の美しさ 心すがしくあらわれて 故郷思うゆかしさよ 名も懐かしき学生寮 古きゆかりの夢の跡 暫し心を留めつつ 夕日に映ゆる二上の峰をながめてもの想う 窓辺に寄れば懐しや わが故郷はここにあり 名も永遠に学生寮

学歌

作詞 北村七三雄
作曲 宮田和先生

大和国原 光あふれて わか草の命 ここに萌え立つ 身内めぐり 血潮高鳴り み空の青に 願いは澄みて 手に手をとるに 友よ進まん 奈良文化 奈良文化女子短大 ああ われら 朝あけの 鐘うち鳴らす

むらさきほふ 四方垣山は 遙けき思いを 伝え呼びかく 古きみやびの 跡をかなしみ 新しき世の 道を求めて 手に手をとるに 友よ進まん 奈良文化 奈良文化女子短大 ああ われら とこしえの 扉をたたく

女性らしい優しさの中に格調高い歌調は、学生に愛され、卒業してもなお歌い継がれています。



研究紹介 (先生方の研究活動をご紹介するコーナーです)

「夢に向かつて」

奈良学園大学特別客員教授 筒井 通子



「まほろば」で皆様とつながらせていただけ、感謝いたします。
造形の人権教育で話した、しよがいにも負けず前足だけで、生き抜いた犬「じろこ」、

その後ろ足になり、共に生きてわたしも強くならせてもらいました。そして、今、「夢」に向かっています。

現在は、奈良学園大学特別客員教授 地域活性化事業や教育関係での講師活動そして、「夢」を「カタチ」にした「奈良芸術と教育研究所」で「夢ギャラリー&トーク」で今日までの研究の実践と探求をしています。

ここまで続けてこられたの

ここ数年の活動

- ・あべのハルカスの企画展
筒井通子油彩画展「芸術と教育」
- ・「夢ギャラリー&トーク」に於いて学生の作品の展示で取り組んだ第三十二回国文祭 第十七回障文祭 (奈良県知事より感謝状)
- ・右脳活性化教室「絵画部」「囲碁部」の定期的な展示発表や大会
- ・教育講演会教員研修会講師
- ・地域の活性化事業講師の生徒作品展示 (地域主催於市民ギャラリー)
- ・「東京駅発展」「銀座発展」に毎年展示発表全国発信
- ・奈良県オリエンテーリング協会 理事長・事務局 パークツアー・イン・関西 香具山コース試走大会 開催
- ・令和 2 年 4 / 7 ~ 7 / 7 東京帝国ホテル二科サロン 作品展示
- ・市民文化祭・絵画展に招待展示
- ・国際美術教育学会 In SEA へ「コロナ禍でできること」への提案

受賞歴

- 絵は、皆様と共に歩んだこと (じろこ等) や夢の表現をしました。
- ・大阪御堂筋アート大阪市長賞
 - ・美術祭ソウル展 理事長賞
 - ・東京展・北京展大賞 等
 - ・第102回 二科展 特選
 - ・第103回 二科展 会友推挙 春季二科展 春季二科賞
 - ・学校法人奈良学園理事長賞
 - ・第27回ミレー友好協会展 文部科学大臣賞
 - ・第104回二科展 会友賞 (右写真)



「今、わたしたちができること」を胸に「夢の実現」になかまと共に精進いたします。
<https://narageijutokyoaiku.amebaownd.com>



卒業記念碑の移転
登美ヶ丘キャンパス新学舎建設にあたり卒業記念碑は南門西に移転となりました。



2020年8月新学舎の建設が始まりました。

お知らせ

母校HPは2022年4月奈良学園大学HPに集約される予定です。それまでの間、トップページに情報を集約して運営されます。証明書等の申し込みは、HPでご確認の上、卒業年、学科、在籍時氏名、必要証明書、送付先、電話番号を明記し奈良学園大学教務課 (登美ヶ丘)宛郵送願います。発行手数料は、成績関係は300円、その他200円、返信郵送料1通120円 2~5通140円です。総計金額を郵便定額小為替でお送りください。
〒631-8524奈良市中登美ヶ丘3-15-1
奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス 教務課 証明書発行係

編集後記

コロナ禍の今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。
今年も、頻発する地震、大雨、川の氾濫等の自然災害が懐かしい人の住むあちらこちらに甚大なる被害をもたらしました。被災された皆様、心よりお見舞い申し上げます。ご近況を同窓会までお知らせいただきたくお願い申し上げます。
足立浩先生の学生時代からのお友達に作家の井上靖氏がおられました。志賀直哉邸を訪れられた時に求めに応じ著書にサインをし「正確であることは美しい」という言葉を記されたとのこと。先生は、作家の言葉に感心されたそうです。正確であることは難しい。己を省みることの多い毎日です。
同窓会事務室には、先生方、同窓生の皆様からご寄贈、ご紹介いただいた書籍を資料として保管しています。
花岡大学先生の「百羽のツル」もその一冊です。百羽のツルのあたりまえな心と心の「つながり」をじっくりと考えてもらいたいと先生はおっしゃっています。心をつながり求めてみたい人に会える日が待ちどおしい今日このごろです。
(耕田)

令和元年度の同窓会決算及び令和2年度同窓会予算について下記のとおり報告します。

令和元年度 同窓会決算書

(収入の部)

項目	金額(円)
前年度繰越金	81,620,210
会費	0
寄付	1,057,019 <small>奈学大短大自治会</small>
	6,002,805 <small>〃</small>
雑収入	0
利息	6,738
合計	88,686,772

(支出・資産部)

項目	金額(円)	備考
事務局費	270,144	
事業費	228,073	総会経費・会費作業費
備品費	124,830	PC・プリンタ
通信費	1,022,836	会誌発送料他
印刷費	474,160	会誌、封筒
光熱水費	0	
慶弔費	0	
予備費	0	
小計	2,120,043	
定期性預金	85,324,339	
普通預金	1,242,390	
小計	86,566,729	
合計	88,686,772	

令和2年度 同窓会予算書

(収入の部)

項目	金額(円)
前年度繰越金	86,566,729
会費	0
利息	6,754
合計	86,573,483

(支出・資産部)

項目	金額(円)	備考
事務局費	500,000	
事業費	1,300,000	会誌発送作業費、総会経費等 卒業記念碑移設事業
備品費	200,000	
通信費	1,200,000	会誌送付料
印刷費	400,000	封筒、会誌
光熱水費	10,000	
慶弔費	100,000	
予備費	100,000	
小計	3,810,000	
定期性預金	82,324,339	
普通預金	439,144	
小計	82,763,483	
合計	86,573,483	

奈良文化女子短期大学 奈良学園奈良文化女子短期大学部同窓会の令和元年度の経理について監査いたしましたところ、その内容は適切なものと認めます。

令和2年4月1日

会計監査 新谷 初子
会計監査 岡部 るり子

会計報告

令和1年度 会務報告

- 4月13日 役員会令和1年度事業について
- 9月1日 同窓会会誌まほろば発行
- 10月27日 役員会
同窓会総会・ホームカミングデー

訃報



元奈良文化女子短期大学
学長 植田 俊治 先生

令和二年六月二十四日

ご逝去 享年九十六歳
学長先生の車に手を振る
学生たち、若かりし頃の
お話、イギリスのパブの
お話、先生の優しい笑顔、
楽しい思い出とともに

謹んでご冥福をお祈り
申し上げます

STAFF EDITORS

- 池田 順子・櫻井 秀子
- 赤崎 良子・杉本 昭子
- 坪井 佳子・栢田 昌子
- 新谷 初予・岡部 るり子
- 唐戸 栄子・成瀬 恵美子
- 牧浦 信恵・西井 祐子
- 柿本 幸子

会誌送付先変更(住所変更)・会誌送付停止の連絡について

*会員番号・卒業年・学科・在学時氏名をお知らせください。
*大学事務局は受付できません。
*同窓会 まほろば宛て郵送又はメールでお知らせいただければ幸いです。
注意：メールで送付停止のお知らせをいただいたのですが、同じお名前の方が5名おられまして、たずね当たらず今回も送付させていただいた方がおられます。会員番号、卒業年、学科、在学時のお名前でお知らせいただきたくお願い申し上げます。
郵送先
〒631-8524 奈良市中登美ヶ丘3-15-1
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部 同窓会まほろば事務局
Email:nwc-mahoroba@nara-su.ac.jp
事務局(登美ヶ丘キャンパスアリーナ2F) Tel.0742-47-2260
営業日：原則水曜日10:00～13:00(変更あり)